（広　報　資　料）

平成２５年１月３０日
行　　財　　政　　局
（担当：防災危機管理室
電話：２１２－６７９２）

「京都市シェイクアウト訓練」の実施について

－市民，観光客，通勤・通学者 170 万人 みんなで一斉防災行動！－

京都市では，関西の政令指定都市単独の実施では初めてとなる，シェイクアウト訓練（参考１参照）を実施します。

この訓練は，携帯電話の「緊急速報メール」を利用して市域に滞在する皆様に地震発生の情報をお伝えし，一斉に自らの身の安全を図る行動を行っていただき，自宅や会社等での防災対策を確認するきっかけとしていただくことを目的としています。

記

１　訓練日時・場所

平成２５年３月１１日（月）午前１０時３０分　　京都市内全域

２　訓練対象者

京都市内にいる市民，観光客，通勤・通学者等

３　訓練想定

京都市に震度４以上の地震が発生

４　訓練内容

（１）情報の伝達

緊急速報メール（参考２参照）（ＮＴＴドコモ，ＫＤＤＩ（ａｕ），ソフトバンク）により，市内全域の市民等にシェイクアウト訓練の実施を呼びかける内容をお伝えします。

（２）訓練の実施

家庭や学校，事業所等で緊急速報メールを受信したことを合図に，シェイクアウト訓練を実施していただきます。

また，併せて，避難訓練や周囲の環境の点検を行うなど，防災の取組を行っていただくよう呼びかけていきます。

５　訓練参加表明について

京都市シェイクアウト訓練の趣旨に御賛同いただける方に，個人及び事業所・学校等の単位で，ホームページ，電話，ファックスを利用して，事前に訓練への参加登録により参加表明をお願いします。その登録状況（参加者数）は，日本シェイクアウト提唱会議のホームページで公表します。また，京都市では，メールアドレスを登録いただいた方に事後，訓練等に関するアンケート調査を実施させていただきます（この登録がなくても，緊急速報メールは受信いただけます。）。

６　その他

京都市シェイクアウト訓練の詳細につきましては，ホームページ（参考３参照），ポスター，チラシを御確認いただくようお願いします。

（参考）

１　シェイクアウト訓練について

・シェイクアウト訓練は，日本ＳｈａｋｅＯｕｔ提唱会議（会長　林春男京都大学教授）が提唱しているものです。
・２００８年にアメリカで考案された地震災害のための新しい訓練方法で，一斉に参加者全員が机の下に隠れるなど身の安全を図る行動をとることにより，自宅や会社等の日頃の防災対策を確認するきっかけづくりとする訓練です。
・参加者は，事前にインターネット等で登録し，指定された開催日時に自主的に訓練を行います。
・３つの安全行動（①ドロップ（姿勢を低く），②カバー(体・頭を守って)，③ホールド・オン（揺れが収まるまでじっとする)）を約１分間行っていただきます。
・職場や学校等で事前に地震前に何ができるか，どんな準備ができるか考えていただきます。

【特徴】

①　科学的な研究成果による災害シナリオの理解を目的とした防災訓練
②　日時指定の「一斉防災訓練」
③　多くの人々が参加できる，経費の掛からない防災訓練
④　それぞれの場所で，誰もが参加できる防災訓練
⑤　みんなが工夫できる防災訓練
⑥　身を守るという共通訓練とそれぞれの実情に応じた個別訓練
⑦　安全確保姿勢の訓練を共通項にして，独自の付加をして工夫を加えられる訓練。

日本では，平成２４年３月９日に東京都千代田区で開催されて以来，各地で実施されています。

２　緊急速報メールについて

国・地方公共団体が災害情報又は避難情報を，特定エリアにある携帯電話やスマートフォンに対して一斉に送信するものです。回線混雑等の影響を受けることなく，タイムラグもなく，緊急情報を迅速に伝達することができます。

ただし，一部の機種は対応しておらず，緊急速報メールが受信できる携帯電話等は，約半数程度と推計しています。（平成２４年１０月現在）

また，受信が可能な機種であっても，使用状況や設定状況により緊急速報メールが受信できない場合があるほか，緊急地震速報は受信できても，緊急速報メールが受信できない機種があります。詳しくは，各通信事業者のホームページ等で御確認ください。

なお，緊急速報メールの受信には，事前登録の必要はありません。また，通信料や情報料も含めて一切無料です。

京都市では，平成２３年８月からＮＴＴドコモ，平成２４年２月からＫＤＤＩ（ａｕ）及びソフトバンクによるサービスの利用を開始しています。

これまで，災害での運用実績はなく，今回の訓練で初めて使用します。

３　ホームページのＵＲＬについて

・「京都市防災危機管理情報館」（URL　http://www.bousai-kyoto-city.jp/bousai/）
・「シェイクアウト提唱会議ホームページ」（URL　http://www.shakeout.jp/）